

ビッグプロジェクト

チームワークが大切!

建設業、お仕事相関図

建設業界社員 キャリアパス

今昔竣工物件紹介 Legacy



都市という大きなキャンバスに、どんな未来を描こう。建設業界で働く若者たちは、目の前にある現場の向こうに、それぞれの理想を思い描いている。オフィスや工場で働く人々。笑顔で走り回る子ども。それを穏やかに見守るお年寄り・・・誰もが安心して暮らせる街を実現するために、若者たちは日々、創意工夫を重ねている。そこには、仲間と分かち合える感動がある。努力がカタチになる喜びや、理想を実現する醍醐味がある。そして、自分たちの仕事が、多くの人々の暮らしを支えているという確かな実感がある。

未をつかる

5



TEAMWORK

チームワーク

一人ではできない大きな仕事

都市を創造するというスケールの大きな仕事は、

決して一人の力ではなし得ない。さまざまな専門

分野の技術・技能をもつ多くのスタッフと、インフラ

や建物を完成させるという同じ目標や信念のもと

に力を合わせる。その経験は、多くの発見と学び、

そして感動に満ちている。

WORK

やりがい

自分の努力がカタチになる

建設業のやりがいとして誰もが口にするのが、自らが手掛けた建造物がカタチとして残る喜びだ。竣工した際の感動はもちろん、お客様からのねぎらいの言葉、街の一部として人々の役に立っている実感…それらすべてが、自身の誇りになる。

C R E A T I O N

創造

理想を自らの手で現実に

脳裏に描いた理想の建物を、自らの手でカタチにしていく。そこにはモノづくりの醍醐味がある。建設業で手掛けるモノづくりは、建物、そして都市という、大スケールならではの難しさがあるが、だからこそ、創り上げたときの喜びも大きい。

SOCIAL CONTRIBUTION

社会貢献

誰かの幸せのために働く喜び

地震や台風、水害などの災害が頻発するなか、安全・安心な社会への要求が高まっている。災害に強い建物づくり、街づくりに努める一方で、万一に際しては、最前線で復旧・復興に尽力する。それが建設業にとっての大きな社会的使命である。

R

01

近年、幅広い産業分野で取り組まれている「働き方改革」が、建設業においても着々と進行中です。誰もが 夢をもってイキイキと働ける――そんな職場づくりに向けた、建設業界の取り組みの一例を紹介しましょう。

政府の後押しのもと、建設業の働き方改革が加速







かつて建設業といえば"3K(きつ い、危険、汚い)"という印象から、 就職先として敬遠されがちな面が ありました。近年では、建設業にお いても「働き方改革」が進んでお り、"新3K(給料、休日、希望)"をス ローガンに掲げ、建設業で働く 人々に、安定した給料と休日を保 障することで、希望の持てる職場 にしようとする取り組みが活発化 しています。

建設業の担い手は、社会のインフ ラを支える不可欠な存在であり、 建設業を若者にとって魅力のある 職場にすることは社会全体の課 題です。そこで、2018年3月に国土 交通省が「建設業働き方改革加 速化プログラム」を発表。長時間 労働の是正や給料・社会保険の 充実、生産性の向上の実現に向 けて、官民一体となってさまざまな 取り組みを進めています。

各社の取り組み

性別を問わず、誰もが安心して健康に働ける職場づくりに向けた、 建設業各社の取り組み事例を紹介しましょう。

出産・育児休暇



結婚や出産は、女性が仕事を続けていく 上で大きな岐路となります。建設業各社 では、女性の活躍を促進するため、出産・ 育児休暇制度の充実に努めるとともに、 職場に復帰しやすい環境づくりを進めて

イクメン支援



「イクメン」とは子育てに積極的に関わる 男性を指す言葉。男性社員にも育児休暇 取得制度を設けるとともに、その制度を活 用しやすいよう、部下の働きやすい環境を 整え育児参加を後押しする「イクボス」の 育成・啓発に努めています。

ワーク・ライフ・ バランス



週休2日制の定着や長時間の残業防止な ど、労働時間の短縮に向けた仕組みづく りが進んでいます。仕事を効率化し、休暇 や余暇を充実させ、家庭や自己啓発、健 康増進などの時間を持つことで、プライベ ートと仕事の調和を目指しています。

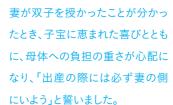
仕事と家庭は、 どちらもなくてはならないもの

近年、よく「仕事と家庭の両立」と いうことが議論されていますが、私 自身への反省も込めて言えば、 「仕事」と「家庭」は別個に存在す るものではないと思っています。人 は家庭があるからこそ仕事を頑張 ることができ、仕事があるからこそ 家庭を守ることができる――そう 思えば、仕事に熱中するあまり家 庭を犠牲にすることを"美談"にす るのでなく、むしろ家庭を大切に することを理想とするような意識 改革が必要だと思っています。 そのため、私は部下と接する際 きるだけ家族を話題にし、例え

子どもが生まれたばかりの社員に は早めの帰宅を促すなど、職場で のサポートを必要としていないか 把握するよう努めています。同時 に、和佐君のように、与えられた休 暇制度をしっかり活用して、家族 を大切にしている先輩たちの例を 紹介することで、制度を利 すい風土づくりを心がけています。 建物や街は、いわば建設 人々の"想い"の結晶です 。そう私は信



まずは職場に相談して周囲の 理解と協力を得ることが大切



作業所長という立場上、休みを取 ることの影響も大きいため、躊躇も ありました。しかし、上司の林さん に相談したところ、まず「おめでと う!」と我がことのように喜んでい ただけ「君が率先して休みを取れ ば、後輩たちも休みやすくなる」と E日に有休と合わ ることを宣

どんどん休んでください」と言って もらえ、よい仲間に恵まれたことに 感激しました。

無事に出産した後も、週に数日は 早めに帰宅するよう心がけていま すが、そのため、従来以上に仕事 の段取りに気を配るようになり、か えって効率が上がったように感じ ています。

これから結婚・出産を控えて、職 場への影響を考慮している皆さん には、自分だけで思い悩むのでな く、まずは職場で実際に口にして みることをオススメします。そうす れば必ず、周囲は祝福し、協力し てくれるはずです。



- Construction T

変わる建設業の未来

近年、国土交通省が推進する 「i-Construction」とは、建設現 場にICT (情報通信技術)を導入する ことで、現場作業の効率や質、安全性 などを飛躍的に高めるもの。その先端 技術を紹介しましょう。

メリット

効率向上による 労働時間の短縮

無人化などによる 安全性の向上

技術革新による 施工品質の向上

経営効率の改善による 賃金向上

ドローンの活用による 3次元測量



災害対策工事の「無人化施工」

地震や台風、火山の噴火など、自然災害にともな う復旧工事には、二次災害の危険がつきもの。こ うした現場で威力を発揮するのが、「無人化施工」だ。 無人化施工とは、無線通信技術などのICTを活 用することで、安全な場所から災害現場の状況 を把握。建設機械を遠隔操作して、危険な現場 うものだ。

例えば、2016年の熊本地震では、土砂崩れの拡 大を防ぐための斜面崩壊緊急対策工事におい て、「ネットワーク対応型無人化施工システム」 が採用された。

この現場では、余震によるさらなる崩落が危惧さ

れていたが、対策を要する範囲は広大であり、か つ、短時間での施工が求められた。そこで、同シ ステムの導入により、「通信用」「映像用」「操作用」 の各情報をそれぞれデジタル化して混線を防 ぎ、斜面崩壊の現場から約1キロ離れた操作室 で一元管理する仕組みを構築。各地の現場を映 に足を踏み入れることなく迅速・確実な施工を行 像で把握しながら、多数の建設機器の同時稼働 を可能にした。

> これにより、安全で確実な対策工事が実現し、早 期の復旧に大いに貢献する結果となった。自然 災害が多発している近年において、無人化施工 技術の発展は重要になりつつある。



遠隔操作により無人で稼働する建設機器





広範囲におよぶ対策工事の 現場から1キロ離れた操作室

情報端末を駆使した業務効率の改善

建設現場では、図面など多くの書類が必要とさ れるが、紙でできた書類は作成・管理には多大な 業務負担をともない、業務効率を改善する上で の大きな課題となっていた。近年、こうした課題 の解決策として注目を集めているのが、現場に携 帯できるタブレット端末に、さまざまな情報管理 システムを導入し、業務効率改善を図る試みだ。 例えば、これまでは現場でチェックを行い、事務 所に戻ってからパソコンで書類をまとめ、関係者 と共有するといった作業だったが、タブレット端

末を使ってその場で電子書類を完成させること が可能になり、二度手間になっていた煩雑な作 業を省力化することができた。また、タブレット端

末同士に同じアプリを入れておけば、それらの電 子書類データは現場から離れた関係者ともSNS のような要領で簡単に共有することができる。

この他にも、タブレット端末のカメラ機能を活用 することで、作業員と施工管理者が遠く離れた場 所にいてもリアルタイムに現場の状況を確認し、 スムーズに作業の指示を出すことが可能となる など、機能や精度の向上とともに、昔では考えら れなかった新たな働き方が実現。

タブレットやスマホなどの情報端末を活用した ICT技術の導入は、建設現場における時間の有 効活用の一助となっている。



情報端末を用いて現場で書類作成



遠隔地から現場を把握する 「テレワーク」



理け不要



若手こそが「i-Construction」の担い手

近年、建設業界において大きなトレンドとなっているのが、ICTの活用による業務の効率化です。例えば、無人で動くICT建機やドローンなどを導入することで、現場の生産性は飛躍的に向上しますし、安全性も高まります。また、現場に情報端末などを導入して、リアルタイムな情報共有を可能にすることで、施工全体の効率化も進むはずです。こうしたICT活用を社内に普及・推進していくのが私の仕事であり、具体的にはドローンによる測量データを用いた3次元モデルの作成など、現場への情報化施工の

導入支援を行っています。

建設業界は、まだICTの導入が始まったばかりで、他の産業分野に比べると、やや遅れていると感じています。逆に言えば、普段からスマホなどを使い慣れた若い世代にとっては、活躍の機会が大きく広がっているとも言えるでしょう。今後、建設業の担い手不足が懸念されるなか、ICTを駆使して現場の生産性向上につながるシステムを開発していくともに、私も含めて「i-Construction」の担い手となる人材を育てるための体制づくりにも取り組んでいきたいと思っています。

ゼネコン若手社員

1



建設業には多種多様な職種の仕事があります。

現在、建設現場と深く関わる立場で活躍している若者たちに、

それぞれの現場で取材しました。これからの建設業界を支えるモノづくりへの

情熱とエネルギーをご紹介いたします。

ICTを駆使して"段取り力"をアップ

建設現場では"段取り9割"と言われるように、 事前の準備がとても大切です。明日の現場では、何名の作業員さんが、どんな作業を行うのか。どれくらいの資材が必要か・・・。日々の業務内容を確認して、必要な準備を手配するのが施工管理の仕事。万一、手配漏れがあれば、工期に遅れが生じかねないうえに、作業員さんにも迷惑をかけてしまいます。そうした責任の重さを感じつつ、日々の仕事に当たっています。 "段取り"を漏れなく、確実に行うには、いかに仕事を効率よく行うかが問われます。そこで強い 味方になっているのがICTです。私たちに支給されているタブレット端末は、各種の図面や書類を現場で検索・閲覧できる優れモノ。事務所に戻って書類を確認するといった手間を省けるだけでなく、その場で帳票に入力し、データとして保存できるので、書類作成の手間も大幅に削減できます。かつてはすべて手作業で行っていたことが、今ではICTによって効率化されているので、この恵まれた環境を活かして"段取り力"を高め、現場全体の効率化に貢献していきたいと思っています。





女性ならではの気配りを活かして

もともと建設業界を志望していたわけではなく、保育士になりたいと思っていました(笑)。両親から「将来に備えて手に職をつけなさい」と勧められ、工業高校から専門学校に進学。実習でイスを造ったり、測量したりするなかでモノづくりの楽しさを知り、将来の仕事としてイメージするようになりました。いざ就職するにあたっては、建設業に対して"男性中心の職場"といったイメージもあり、正直なところ不安もありました。それでも「好きな仕事をやりたい!」という気持ちで飛び込んでみると、上司や先輩はもちろ

ん、協力会社の人も優しい方ばかりで、何でも話せる雰囲気でした。男性中心の職場なので、「女性らしい気配りがあって助かるよ」と言ってもらえることもあります。だからといって甘えは許されません。自分のミスで周囲に迷惑をかけてしまったときは厳しく叱責され、施工管理という仕事の難しさや責任を痛感しました。まずは目の前の仕事を1つひとつしっかりとこなし、少しずつでも周囲から信頼されるような存在になっていきたいですね。

スケールの大きなモノづくりの醍醐味を実感

「せっかく仕事にするのなら、スケールの大きなモノづくりを」と建設業界を選びましたが、実際に働いてみて、モノづくりには2つの喜びがあることに気付きました。一つは、子どもの頃から感じていた、自分で手を動かす喜び。そしてもう一つが、多くの関係者と協力して、より大きなモノをカタチにしていく喜びです。これこそ、私が担当している施工管理という仕事の喜びに他なりません。

自分の手配したコンクリートなどの資材が、自分 の依頼した協力会社の手で、整備された護岸へ と仕上がっていく――その姿を目の当たりにすることができるのが、この仕事ならではの醍醐味です。一方で、こうした大スケールのモノづくりも関係者の緊密な連携が欠かせません。1つの伝達ミスが、多くの関係者に影響を与えかねないという厳しさを、常に意識して取り組んでいます。幸い、これまで経験してきた職場は風通しも良く、社員も協力会社の人も、相談しやすい方ばかり。周囲への感謝の気持ちを忘れず、日々、きめ細かな情報共有を通じて、自身もさまざまな知識を吸収していきたいと思っています。





経験とともに知識と視野が広がる

建設業界を志望したきっかけは、古い家がリニューアルで甦る有名テレビ番組を見て「面白そう」と思ったこと。大学では建築学科を選びましたが、就職活動の際には、戸建て住宅を手掛けるハウスメーカーよりも、多種多様な建設物に関われるゼネコンを志望しました。実際に入社して感じたのは「こんなにやることが多いの!」というもの。一口に建設業といっても、業務領域は非常に幅広く、それぞれに異なる技術や知識が求められます。とくに、施工管理という仕事は範囲が広く、スケジュール管理から資材管

理、安全管理、予算管理と、建設現場における ありとあらゆることを管理・監督することが求め られます。よく「最初の10年は修業」と言われま す。実際、私も入社一年目は、学ぶべきこと、覚 えなければならないことが非常に多いため、目 の前の仕事をこなすだけで精一杯でした。最 近、少しずつですが、現場全体を俯瞰して捉 え、次に何が必要かを考えられるようになって きました。目標とする上司や先輩にはまだまだ 及びませんが、今後もさまざまな現場を経験し て、より広い視野を身につけていきたいです。

07

建設現場というものは、日々、 変化を続けており、建物が少 しずつ完成に近づいていくの を実感できます。皆さんも建物 ができ上がる瞬間を体験しま せんか?



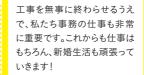
大切にしていることは、一緒に 働く多くの人とのコミュニケー ションです。日々、完成に近づ いていく現場と同様に、自分も 日々、成長していると実感でき ます!

完成した建物が何十年も形と して残っていく――そんな実感 を大切にしながら、その建物を 長年、使うことになる方々を喜 ばせられるような仕事をしてい



「何のために働くのか?」と考え ているあなた!建設業界なら、 その答えが見つかるはず。夢や 情熱を持った仲間たちと一緒 に、ロマンを追い求めてみませ

現場監督として周囲から信頼 されるには、現場で起こるさま ざまな事態に対処できなけれ ばなりません。自分にできるこ とを増やし、1日も早く一人前 の現場監督になります!





建物には1つひとつ異なる個 性があるので、規模を問わず 幅広い建物を設計することで、 自身のスキルと経験値を高め ていきたいですね。

まだ研修中ですが、施工実習 で同期の仲間とともにモックア ップを竣工できた喜びは格 別!研修後に配属される現場 では、もっと大きな感動が待っ ているはず!

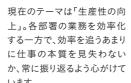


建設業界若者の声

自分の仕事がカタチになって いく様子が間近で見られるの で、日々、達成感が得られま す。どんな状況にも対応できる よう、いろんな経験を積んでい

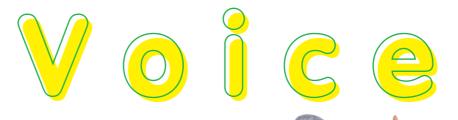


現場事務という仕事は、建設 現場における資金管理や労務 管理など多岐にわたります。多 種多様な経験ができるので、 充実した日々を送っています。





さまざまな想いやアイデアを図 面にし、たくさんの人達と協働 して魅力的な建物をつくりあ げていく。そこに設計という仕 事の楽しさがあります!

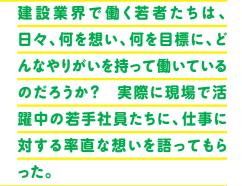


これからの建設業に求められ るのは、「先端技術を駆使した 効率化」と「守るべき職人技」 を融合させ、"次世代の担い 手"を育てていくことだと思っ





建設業界に入ってよかったと 思うのは、頼りになる上司や先 輩方が多いこと。仕事での悩 みはもちろん、プライベートも 含めて、気さくに相談に乗って もらっています。





現場密着ルポルタージュ 手 壮 員 の 一

建設現場の状況は、案件ごとに千差万 別なうえに、同じ現場でも常に変化し続 けるもの。それだけに、日々の積み重ね が重要です。建築、土木の現場に関わ る若者の一日を実感してください。

土木施工管理/2016年入社

杉山 弘晃さんの一日



現場スタッフ全員を集めての朝礼。2週間に一度 回ってくる司会のときは、やはり緊張します。

現場巡回

現場で気になったことは積極的に指摘し、協力会 社の方々と課題意識を共有するよう努めていま

デスクワーク

社内打ち合わせに向けて資料のまとめや作成、メ ールの返信等を行います。

10:00



社内会議

各工区の進捗状況や課題について情報共有。上 司や先輩の発言からさまざまな気付きが得られま

12:00



近くのファミレスに行ったり、事務所でお弁当を食 べたり。コミュニケーションを深めるための大切な

施工計画作成

実は、仕事の半分はデスクワーク。事前にどれだ け綿密に準備できるかが重要です。

15:00

毎日の安全点検をおろそかにしないことが、施工 管理の基本中の基本です。

17:15

夜勤への引き継ぎ・退社

-- 日の終わりに、当日の進捗と、明日の予定を確 認。その後はみんなで繰り出すことも。



今でも忘れられない言葉が、入社1年目に言われた「仲間を 分にも後輩ができたとき、かつての先輩のように頼られる存 在になりたい。それが今の目標です。

現場で汗をかくだけでなく そのための準備も大切

高専で建築を学んだ私は、2020年に控えたオリンピック・パ ラリンピックを間近で体感したくて、東京で働けるゼネコン を選びました。現在の職場でもオリンピックに向けた活気を 感じることができ、自分も微力ながら、その一端を担ってい るという実感があります。土木監督だった父を通じて、ある 程度は仕事内容をイメージできているつもりでしたが、実際 に働いてみると、思っていた以上にデスクワークが多いこと に驚かされました。どちらかといえば事務仕事は苦手で、現 場に出て職人さんたちと一緒に汗をかく方が性に合ってい る私ですが、事前の綿密な計画や手配があってこそ、現場 が円滑に進むのだということを痛感する毎日です。

建築施工管理/2016年入社

野崎 優さんの一日



毎朝の朝礼で、当日の予定や注意点を確認。一日 のスタートです!

9:00

現場巡回

現場の安全確認も大切な仕事。女性ならではの 細かい気配りで、危険のタネを察知します。

11:00

社員打合せ

若手といえども、自分の意見をしっかりもって、積 極的に発言することが大切です。

12:00

一息つける大切な時間。お弁当を作ってきたいと ころだけど、ほとんどはご近所のコンビニで。

午後の作業内容の確認を行い、職人さんと危険 なポイントを確認。気を引き締めて午後も頑張り

14:00

現場巡回

配筋と図面を見比べてズレがないかチェックします。

15:00

現在着工している工事を含め、今後の工事内容 を確認し、現場での段取りや必要な資材を確認。 準備の綿密さが、現場の効率を左右します。

18:00



明日に備えて退社。ときには先輩方や現場の皆さ んと飲みに行くことも。

周囲から頼りにされるような "人間性"を磨いていきたい。

大切にしろ!」。同じ現場に配属された同期が、ミスを挽回し ようと遅くまで頑張っているのを、ただ見ているしかできな かった私に、先輩が投げかけた言葉です。この仕事では、知 識や経験はもちろん、それ以上に問われるのが、ともに働く 仲間を思いやる人間性。苦労を分かち合い、ともに汗をかい てこそ、確かな信頼関係が築かれ、一人ではできない大規 模なモノづくりができるのです。以来、私はそれまで以上に 周囲とのコミュニケーションを大切にしています。やがて自

11





現在、都心部にあるビルには、昭和30 年代の「高度成長期」に建てられたも のが少なくありません。いずれも竣工か ら半世紀以上の歳月を経ており、老朽 化が懸念されています。また、現在のよ うな耐震基準が定められる以前に建て られたことから、防災面での懸念も高ま っています。そこで、これらのビルを街単 位で"スクラップ&ビルド"し、周辺の駅 や商業施設などとあわせて再開発しよう

とする動きが、都内をはじめ全国各地で

数々を紹介しましょう。

進んでいます。建設業界にとっては"晴 れ舞台"となる、ビッグプロジェクトの

渋谷プロジェクト

4社8路線が乗り入れる都内有数のターミナル駅、 渋谷駅を中心として、広範なエリアで再開発事業 が進められています。2020年以降も「渋谷スクラン ブルスクエア(中央棟・西棟)」や「渋谷駅桜丘口 地区」などのプロジェクトが予定されており、その 活気は衰えることはありません。



2027年度頃の渋谷駅周辺のイメージ(上空よりのぞむ)

東京駅前常盤橋 プロジェクト

東京駅日本橋口前では、現在、敷地面積3.1haに及ぶ大規模再開発が進行 中です。このエリアは、大手町と丸の内、八重洲、日本橋の結節点となるた め、オフィスで働く人や、観光で訪れる人など、多彩な人々を迎え入れるた めの空間づくりが進められています。2027年の全体竣工に向けて、まずは約 8,000人が働く大規模複合ビルA棟の建設が進められています。







品川開発 プロジェクト

JR山手線30番目の駅として、2020年春の暫定開業が 予定される「品川新駅(仮称)」。この新駅を中核とし て、品川エリアの大規模な再開発プロジェクトが進め られています。隣接する品川駅が「リニア中央新幹線」 の乗り入れ駅となることから、品川エリアは、都心と西 日本とを結ぶアクセスの要として、その価値をさらに高 めています。世界に開かれた「グローバル ゲートウェイ 品川」をめざす、駅と街が一体となった街づくりに、国 内だけでなく世界の注目が集まっています。









東京2020大会後の選手村のイメージ(平成28年3月時点) 晴海中心軸沿いのイメージ ※晴海客船ターミナルの廃止時期は未定です。 東京都都市整備局提供

(平成28年8月時点)



東京2020大会後のまちづくり

晴海ふ頭公園からのイメージ (平成28年8月時点)

中央区晴海で市街地事業が行われており、2024 年度までに環境や景観にも配慮した住宅約5650 戸などが整備される予定となっています。東京 2020大会時には選手村として、住宅の一部を選 手の宿泊施設等に一時使用することとなってお り、現在建設が進められています。再開発に並行 し、晴海埠頭公園の再整備や交通計画も検討が 進められています。

設業、お仕





建設現場の仕事は、社内外の多様なスタッフの 緊密な連携によって、はじめて成り立つもの。 それぞれの仕事がどう関わり合っているかを図解しよう。

発注元

国の行政機関 (国土交通省など)

地方公共団体

発注

建設工事

請負契約

デベロッパー

ハウスメーカー

鉄道・電力・ガス

その他民間企業

建設会社

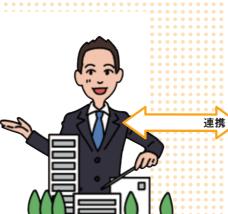
営業担当

発注元と建設会社をつなぐパイプ 役として、日々の情報収集や提案・ 交渉の窓口となる存在。いざ具体 的な案件が発生すると、発注元の 要望を伺い、受注獲得をめざして 社内の各部門と連携しながら、提 案内容をまとめ上げる。



デザイン性や利便性を兼ね備えた 理想の姿を描く「意匠設計」。柱や 梁、床などを組み合わせて安全な 構造を生み出す「構造設計」。更に、 建物のより快適な室内空間を創造 する「設備設計」。それぞれに豊富 な知識と経験が求められる。



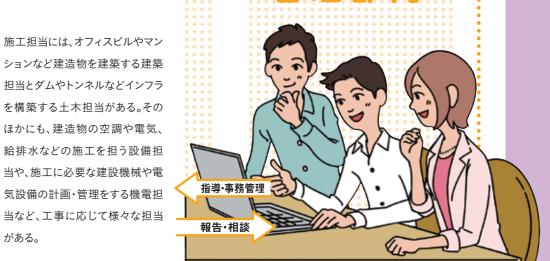


施工担当

質の管理を行うほか、安全面、周 辺環境への配慮などを幅広く担 う。専門知識や技術はもちろん、さ まざまな関係者と折衝するための コミュニケーション力や交渉力、マ ネジメント力が必要とされる。 専門工事会社と連携して、一つの

ものを完成させる為、施工現場の 舵取り役としてプロジェクト遂行 の要となる。

ションなど建造物を建築する建築 担当とダムやトンネルなどインフラ を構築する土木担当がある。その ほかにも、建造物の空調や電気、 給排水などの施工を担う設備担 当や、施工に必要な建設機械や電 気設備の計画・管理をする機電担 当など、工事に応じて様々な担当 がある。



管理部門

プロジェクトの「司令塔」として、案 件全体を俯瞰して見据え、スケジ ュールや予算などを統括する存 在。また、組織づくりや人材育成、 システム開発、ICTなど先端技術 の導入など、さまざまな面から現 場を支援している。

専門工事会社

とび・土工工事

内装工事

タイル工事

左官工事

今昔竣工物件紹介

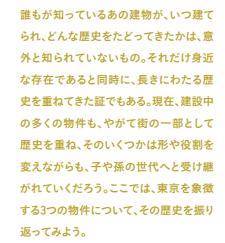
egacy

ゼリアパス

入社から5年後、10年後、そして20年後の自分は、どのように働いているのだろう? ど んな役職に就き、どんな役割を担っているだろうか?ここでは、誰もが気になる建設 業界のキャリアパスモデルについて、10年ごとのスパンで紹介していこう。このペー ジを参考にして、自身の将来像をしっかりと描き、それぞれの時代で求められる知識 やノウハウを身につけられるよう、確かなステップを積み重ねてほしい。

所長/部長

現場を見据えながらも、より高所からの経 営的な視点・思考で、会社全体、さらには業 界全体の課題に取り組んでいく時期。責任 の大きさも、求められる力量も、それまでと は比較にならないが、培った経験や人脈を 活かして取り組んでほしい。







1914年(大正3年)に完成した赤煉瓦 の駅舎は、その堅牢さで関東大震災や 戦時中の空襲も耐え抜いてきた。2003 年には国の重要文化財にも指定され、 その後の保存・復原工事を経て、現在 も多くの人々に利用されている。



現場主任/係長

さまざまな現場を経験し、必要な資格も得 た30代になると、上司や先輩に動かされる 立場から、多くの人を動かす立場になる。知 識や技術だけでなく、周囲から信頼される に足る人間性をも磨き、現場の責任者とし て大きく羽ばたいていく時期。



工事長/課長

40代を迎える頃には、現場の舵取り役では なく、組織のまとめ役としての力量が問われ るようになる。個々の現場だけでなく、多くの プロジェクトをトータルに管理するための、 より広い視野や高度なマネジメント力が求 められる時期。



1940年(昭和15年)に完成した勝鬨 橋は、大型船が航行する際には中央 部から上部に開く「可動橋」として設 計された。1970年を最後に開閉は停 止されたが、今でも跳開時のダイナミ ックな姿を記憶する人は少なくない。



現場担当/新入社員

建設業界で"一人前"と認められるために は、幅広い知識と経験が求められる。このた め多くの企業では、入社当初の5~10年間 を育成期間と捉え、できるだけ多様な現場 で、多様な役割を担うようなジョブローテ ーションを設定している。

20代

30代

40代

50代~





東京タワー

1958年(昭和33年)の竣工当初から、 総合電波塔という機能に加えて「日 本のシンボル」として愛されてきた東 京タワー。東京スカイツリー誕生後 も、予備電波塔としての役割ととも に、観光名所としての人気は健在。

責任感・

収





未来を築き、社会を支える

建設業の魅力や採用情報等、 様々なコンテンツを用意しています。是非ご覧ください。



http://minken.ne.jp/





東京建設業協会 オリジナルキャラクター

一般社団法人

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5F TEL:03-3552-5656(代表) FAX:03-3555-2170

http://www.token.or.jp/